

事業に関わる全ての人に 誇りが生まれる

—出雲の特異なベンチャー企業—

小松電機産業株式会社

代表取締役・小松 昭夫氏

小松電機産業は高速シートシャッター「門番」と総合水管理システム「やくも水神」ネットワークの2つの主要ビジネスで市場を創造し、ブランドを確立してきた。1991年の「中小企業研究センター賞」を皮切りにこれまで多くの表彰を受けてきている。現在では「出雲の特異なベンチャー企業」から、国内はもちろん、アジア、欧州、米国においても名が知られるようになってきている。この軌跡の背景には、生命の本質、人類の特性を踏まえた経営があるようだ。社是、経営理念から同社の経営の軸を伺った。



—小松電機産業の経営に、小松社長が理事長を務める財団法人自然科学研究所の研究成果が大きな影響を与えていると思われる。その点について、まずお話しください。

時代の転換期を迎え、21世紀の製造業が持続可能になるためには、新しい土俵、枠組みの中で考えることが必要です。研究所では特に人に焦点を当てて製造業を支える基盤づくりをしてきました。

その結果、「事業を通じて社会の中で尊厳欲求を満たす」ことが、持続可能な製造業、

持続可能な社会の構築につながるという結論を得ました。従業員全員がチャレンジし、社会に発表することが尊厳欲求を満たすことになるのです。そのため私は、尊厳欲求を阻害している暴力として、戦争に代表される直接的暴力、社会の構造に根ざした構造的暴力、それらの暴力を助長する文化的暴力の3つを注視し、その排除に腐心しています。このように、研究所と当社はシームレスにつながっているのです。

—小松電機産業を理解するには、社是、経営理念を理解するのが不可欠だと思います。まず、社是「事業を通じて社会に喜びの輪を広げよう」についてご説明ください。

この社是は1981年に制定しましたが、先ほど申し上げた「事業を通じて社会の中で尊厳欲求を満たす」と同意です。「喜び」は単独では味わえません。相手も喜び、第三者も喜び、自分も喜ぶのです。尊厳欲求を満たし続けることが最高の「喜び」でしょう。社員から『広げよう』から、『広がる』にまで高めるべき」との意見がありました。大変重要な指摘で、今後「広がる」ためにはどうすべきかを議論していきたいと思っています。こうした点に気がつく社員が多く誕生することを期待しています。

—続いて経営理念「おもしろ おかしく たのしく ゆかいに」についてご説明ください。

この経営理念は、論語の言葉と、松下幸之助翁の「経営百話」にでてくる「天馬空をゆく、ゆかいなり」を組み合わせで制定しました。「おもしろ」は「面白」と書きますが、夜明け前から空が明るくなるにつれて面白くなって存在がわかることが語源との説があります。これは過程に価値があるということを意味しています。「たのしい」と感じるのは、「思」「想」「念」の発達段階に応じた三つの「おもい」が次々と確立、現実化し、第三者から評価されて、尊厳欲求が満たされるからなのです。この経営理念は誰にも理解できると同時に、深遠な意味が込められています。—2010年春、「やくも水神」と

「門番」で「Gシリーズ」を発表されました。このGはGlobalを意味するとのことですが、今後の海外展開について抱負をお聞かせください。

15年にわたる研究所の活動が韓国社会に広く知られるようになったことと、2010年5月の「ソウル国際食品産業大展」で発表した「門番Gシリーズ」の大反響、「やくも水神」の語源となった治水の偉人「周藤彌兵衛」「清原太兵衛」「大楯七兵衛」が韓国語の漫画で新たに出版されたことを契機に、7月にソウル支社を開設しました。今後は韓国だけでなく、中国、東南アジア、世界も視野に入れビジネスを展開、ライバル企業とも補完関係を構築して、ともに成長していきたいと考えています。

私の経営は「天略経営」といわれていますが、この実践、確立、普及のため、利益の一部は、現在研究所が提唱している近代戦争の犠牲者すべてを記録するITを駆使したメモリアルタワーの建設をはじめとする平和事業に寄贈する予定です。この事業に関心ある方のお問い合わせをお待ちしています。—どうもありがとうございました。

(文責：編集部)

いつも楽しく生きられる地球社会の創造



